



機関リポジトリの今

村上祐子

国立情報学研究所



夢の研究環境

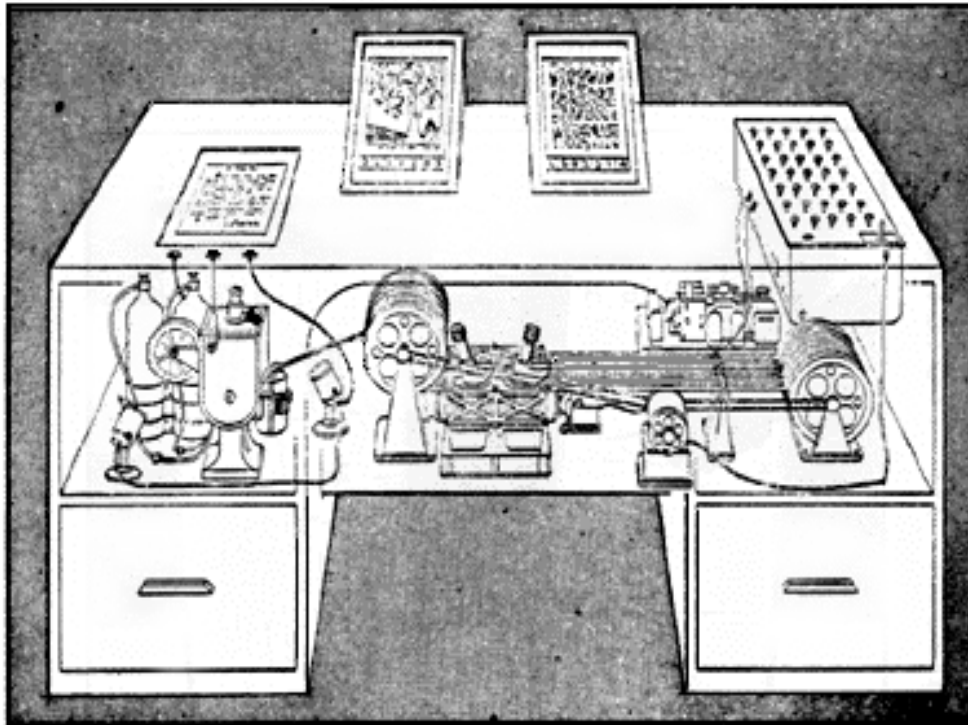


Cited from: Telecollaboration: Beyond Memex and NLS
<http://www.cs.brown.edu/stc/resea/telecollaboration/story.html>





夢の研究環境



Memex in the form of a desk would instantly bring files and material on any subject to the operator's fingertips. Slanting translucent viewing screens magnify supermicrofilm filed by code numbers. At left is a mechanism which automatically photographs longhand notes, pictures and letters, then files them in the desk for future reference (*LIFE* 19(11), p. 123).

Cited from Marc Berrnier, Adventures in cybersound: Vannevar Bush
http://www.acmi.net.au/AIC/BUSH_BERRNIER.html



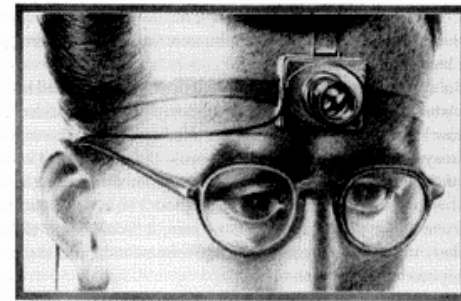


実装イメージ

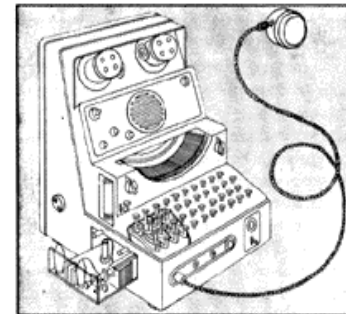
- 🍌リーダつきデスク
- 🍌記録メディア: マイクロフィルム
- 🍌I/O: ウェアラブル・カメラ

108

Vannevar Bush



A scientist of the future records experiments with a tiny camera fitted with universal-focus lens. The small square in the eyeglass at the left sights the object (*LIFE* 19(11), p. 112).



Supersecretary of the coming age, the machine contemplated here would take dictation, type it automatically and even talk back if the author wanted to review what he had just said. It is somewhat similar to the Voder seen at the New York World's Fair. Like all machines suggested by the diagrams in this article, it is not yet in existence (*LIFE* 19(11), p. 114).



Cited from Marc Berrnier, Adventures in cybersound: Vannevar Bush

http://www.acmi.net.au/AIC/BUSH_BERRNIER.html



MEMEX

バナヴァー・ブッシュ 1945年

A memex is a device in which an individual stores all his books, records, and communications, and which is mechanized so that it may be consulted with exceeding speed and flexibility. It is an enlarged intimate supplement to his memory.

研究活動中の情報はすべて自動的に保存
情報が必要なときは探さなくてもすぐ手元に





学術情報基盤

🌱 ICTによる研究環境整備

🌱 理想

🌱 研究活動中の情報はすべて自動的に保存

🌱 情報が必要なときはすぐ手元に

🌱 さらにそれ以上を実現！



CSI : サイバー・サイエンス・インフラストラクチャ (最先端学術情報基盤)

最先端の学術情報基盤が、今後の学術・産業分野での国際協調・競争の死命を制す

バーチャル研究組織

世界的ソフトウェア及びDBの形成

人材育成及びノウハウの蓄積

NIIと大学図書館等との連携による

学術コンテンツの構築・提供, **機関リポジトリ**の形成

次世代スパコンを含む大学・研究機関の計算リソースの整備

ミドルウェア

連携ソフトウェアとしての**研究グリッド**の実用展開

大学・研究機関としての**認証システム**の開発と実用化

NIIと大学情報基盤センター等との連携による

次世代学術情報ネットワークの構築・運用

産業・社会貢献

国際貢献・連携

◎次世代学術コンテンツ基盤◎
(大学とNIIの密接な連携の下で学術コンテンツの形成, 確保, 発信を強化)

社会貢献

学術コミュニティ
(学生, 研究者, 大学, 学会)

国際貢献

発信

CSI (Cyber Science Infrastructure)
ネットワーク + コンテンツ + 研究連合

共有財としての学術コンテンツ

NII

大学

教育研究活動

図書・雑誌
学術論文・学位論文・
紀要論文
研究プロジェクト報告
教材
知財(特許, ソフトウェア)
サイエンスデータベース
文化財データ
等...

成果の蓄積

活性化

デジタルリポジトリ群

連携

協力

確保

図書館コンソーシアムとNIIによる共同導入

電子化

クローリング

ハーベスティング

学術出版社

[電子ジャーナル・電子ブック]

学協会

[学術雑誌]

ウェブ

[多様な情報資源]

その他

[メディア, 報道情報]



機関リポジトリ

学術成果をオープンアクセス
コンテンツとする
デジタルリポジトリのうち、
大学等学術機関が
管理運営するもの





機関リポジトリのメリット(研究者)

- 🍌 読者増→引用増
- 🍌 ハードコピーを郵送せずにすむ
 - 🍌 早い、安い
- 🍌 情報整理の支援を受けられる
 - 🍌 著作権処理
 - 🍌 ファイル紛失防止
 - 🍌 ファイル保存
 - 🍌 メディア陳腐化: 3-5年が目安
 - 🍌 リンク切れ防止





大学活動のショーケース

🍌 教育・研究に資する研究成果物を搭載

🍌 文書：図書・論文

🍌 教材

🍌 データ

🍌 特許情報

🍌 大学情報

ほかなんでも

🍌 研究教育成果の可視化





効果

機関のブランド力確立

-  研究活動のショーケース

-  研究成果の社会・地域への還元

機関のコンプライアンス

-  研究活動の透明性確保

-  研究不正防止策の一環

-  男女共同参画・障害者参画支援

-  デジタル「資料」デバйд解消





国際的潮流

🌱 研究成果：政府助成→

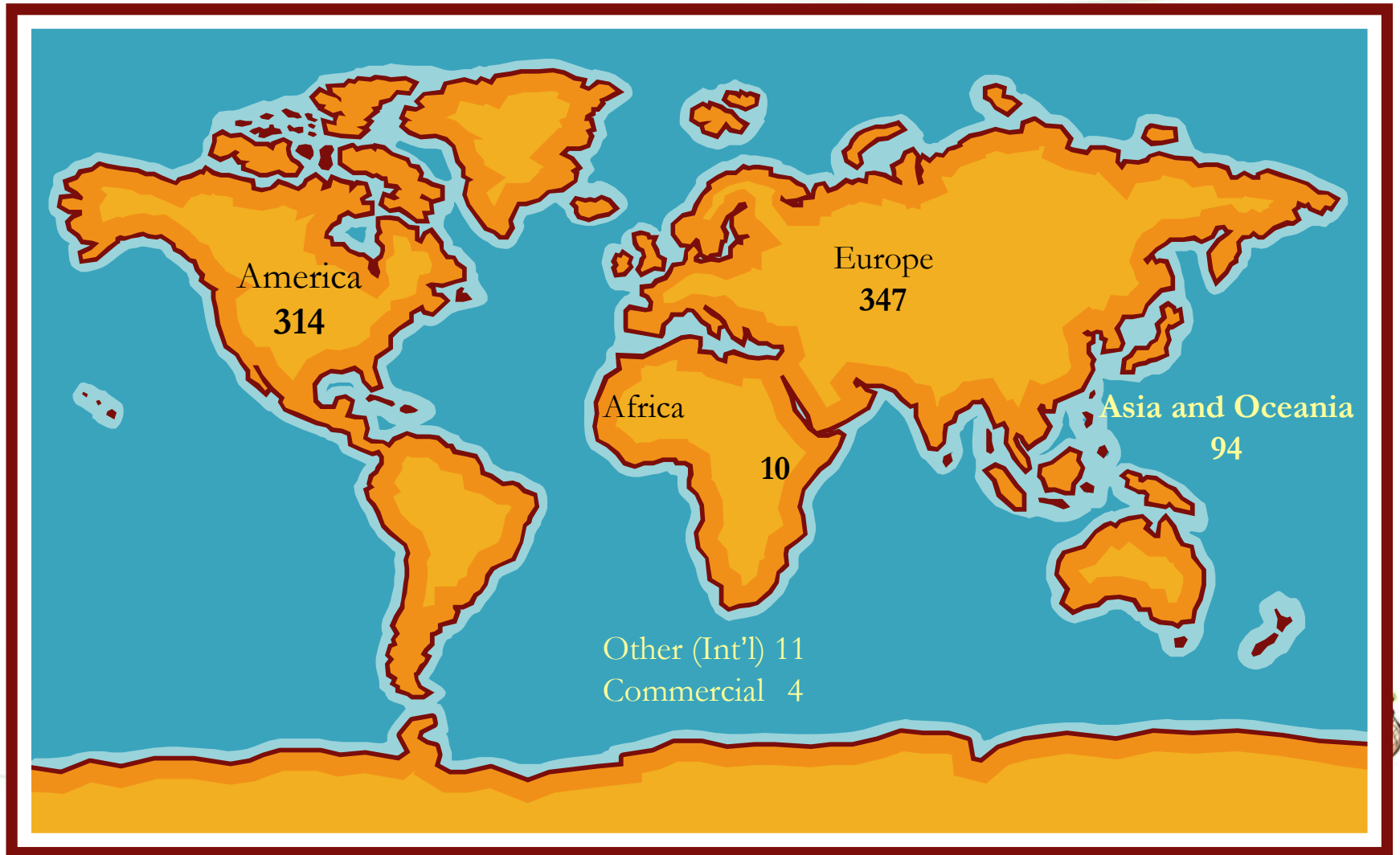
オープン・アクセス義務付け

🌱 ベルリン条約(2003): 日本も署名





世界の機関リポジトリ: 780 (Dec 5, 2006)





NIIの取り組み

委託事業: 57大学

-  普及: プロジェクト期間中のリポジトリ立ち上げ

-  支援に繋がる研究開発プロジェクト: 22

IRハーベスタ: JuNii+

-  近日試行版公開

メタデータ (JuNii+フォーマット、2006)

-  ダブリン・コア (DC) の拡張





連絡先：国立情報学研究所

 <http://www.nii.ac.jp/irp/index.html>

 開発・事業部

 コンテンツ課 学術情報形成第二係

 電話：03-4212-2350

 電子メール：iradm@nii.ac.jp

 学術コンテンツ研究開発センター

 村上祐子

 電話：03-4212-2361

 電子メール：murakami@nii.ac.jp

